

6月定例会
総括質問
 主な質問と答弁

清風クラブ

片倉 章博 議員

市長に問う
「選ばれるまち」
①ツインシティの
まちづくり

問 大神地区の土地区画整理組合の設立に向けた同意の取得状況を伺う。

市長 6月11日現在で、人数では地権者350人のうち220人から同意を得ており同意率は約63%である。面積では58ヘクタールのうち30・2ヘクタールで、約52%である。

問 同意取得の現状に対する市長の考え、受け止め方はどうなのか。

市長 厳しい数字だと感じている。丁寧に説明し、このまちな必要性を訴え、同意率が高まるようにサポートをしていかなければいけないと考えている。

問 ツインシティは今の平塚市ではなく、将来の平塚市にとって大変重要な位置づけであると認識している。地権者を含め、官民一体となってまちの魅力を発信していただきたい。また、減歩率に不安を抱いている地権者もいると思う。事業の展開によっては減歩率が上がってしまうことも考えられるが、どのように

対応していくのか。

市長 確かに、それが地権者の一番大きな不安材料である。保留地を作り出し、企業を誘致し、いろいろなことをして、地権者のリスクをどうなくすかというのが大きな課題である。減歩率を上げないための行政としての支援を、腹をくくって行わないと、このまちづくりは進まない。計画的な減歩はあるが、そこから減歩率が上がらないよう、地権者への追加負担がないよう適切な支援を考へていく。

② 中心市街地の
活性化

問 「住んでよし、訪れてよし」の中心市街地づくりについて見解を伺う。

市長 都市マスタープランにおける「土地利用の配置方針」で、「平塚駅周辺は、商業・業務施設を強化するとともに街なか居住を推進し、商業環境の充実や土地の高度利用などにより、さまざまな都市機能を集積する」としている。

問 商業地域の容積率500～600%の地区における高さ制限の撤廃の考えと総合設計制度、平塚市優良建築物等整備事業補助金の交付対象エリアの現状について伺う。

市長 商業地域においては都市計画高度地区による高さ制限が設けられている。しかし容積率500%以上の地区と明石町について

は、高度地区の運用基準や建築基準法による総合設計制度許可基準に基づき、低層階への商業施設の誘導やオープンスペースの確保があれば高さ制限が緩和され、商業環境の充実や土地の高度利用を促進している。今後、中心市街地の活性化を図られるよう、関係する制度との連携と緩和規定の周知に努めるとも

野崎 審也 議員

国道134号沿いの
「道の駅」の可能性

問 都市公園法の面積の解釈を変えられれば、龍城ヶ丘ブル跡地に「道の駅」の設置が可能ではないか。

都市整備部長 現地は、道の駅としては狭い。現在進めている湘南海岸公園の再整備において、道の駅の設置も視野に入れ、諸施設の設定と配置を総合的に検討し、神奈川県と協議を行っている。

駅南口線路沿いに
新駐輪場を整備

問 平塚駅南口周辺の駐輪場の整備について伺う。

交通政策担当部長 JR東日本と協議のうえ、早期に整備に着手し、今年度中の完成を目指す。昨年の調査では1-3台の放置自転車がなかったが、この駐輪場の整備で解消される予定である。

に、手続きの迅速化と運用基準の見直しを進めていく。中心市街地活性化調整協議会や商工会議所、商店会連合会、日産車体の跡地に開業予定のららぽーとが、肩を並べて連携していただきたいと思うがどう考えているのか。

J-T平塚工場
跡地の土地利用

問 小川跨線橋の撤去を検討されているが、代替案として東海道線沿いに駅南口へつながる道路があれば市民の利便性が高まるのではないか。

産業振興部長 J-T平塚工場跡地の土地利用計画に合わせ、関係する地権者と協議し、実現性を探っていく。

ゆめクラブの活性化

問 老人クラブである「ゆめクラブ」への市からの補助金は、どのクラブへも一律である。会員数に応じた金額に変更できないか。

福祉部長 見直しなければいけないと考えているが、やるとまでは言えない。

問 収益事業を行い、体質強化を図るべきではないか。

福祉部長 収益事業をしてはいけないという規定はない。例えばバザーや公民館まつりでの模擬店、清掃の謝礼など、地域貢献事業で

数田 俊樹 議員

Shonan
BMWスタジアム
平塚について

問 老朽化の進むスタジアムの関連予算に調査委託費100万円を計上しているが、この考え方や今後の方向性について伺う。

都市整備部長 スタジアムが現在抱える不具合や課題に対し、今後の改修の必要性や範囲、あるべき姿や将

健康ポイント事業

問 健康づくりのための運動や社会貢献活動への参加、健康診断の受診をポイント化し、協力店での買い物や飲食、公共施設の割引に利用できる新たなポイント事業を、元気な高齢者支援策として行うことについて見解を伺う。

福祉部長 7月に国から介護保険の制度改正のガイドラインが提示されるので、動向を見据え、今後の介護予防施策に反映していく。

問 体育館の温水プールやトレーニングルーム、サウナについて、高齢者の健康増進のため使用料の減免を考へてはどうか。また、元気な高齢者の介護予防事業との連携はできないのか。

福祉部長 地域支援事業がさらに地域で行う方向に大きく変わる可能性がある。状況を見ながら行っていく。

来像などについて、計画的・効果的・効率的な改修の方向性を見出すための調査費用として計上した。関係する陸上競技団体、サッカー競技団体、Jリーグ、湘南ベルマーレなどで構成する検討組織を立ち上げ、スタジアム改修の方向性を検討していく。その後、スタジアム改修に向けた取り組みを中・長期的な改修計画として策定したい。

問 Jリーグのクラブライセンスの交付条件に関連し、スタジアム設備の状況について伺う。

都市整備部長 施設基準はA～C等級に区分されている。A等級はライセンスを受けるために最低限満たす必要がある設備、B等級は今後整備をする必要がある

設備、C等級は整備の必要性はないが、よりグレードの高い設備である。現在、同スタジアムはA等級を満たしており、Jリーグの開催が可能である。B等級には、洋式トイレの数と座席総数の3分の1を覆う屋根の設置という条件を満たしていない。トイレについては、毎年約20基ずつ和式トイレを洋式トイレに交換しており、残りは39基である。屋根については約5000席を覆う必要があり、現在覆われているのがメインスタンドの900席だけなので今後4100席を覆う必要がある。屋根の増設には大規模な改修が必要となるため、中・長期的な改修計画の中で検討していく。

問 スタジアムの改修に向けた検討組織はいつ立ち上げたのか。

都市整備部長 早急に立ち上げたい。検討組織でどのような調査ができるのか、関係団体からの意見を踏まえ、限られた予算を有効に使えるよう検討したい。

問 J1昇格を迎えたときに資格をはく奪されないよう、関係団体との情報共有に努め、調整を図ってもらいたい。

都市整備部長 Jリーグ側との調整が特に大事になってくる。施設改修にはさまざまな基準がある。他の施設との比較検討もしていきたい。また、平塚市の予算だけで賄えるのかといったことも含めて調整し、検討していきたい。

6月定例会 請願の審査結果

<p>【平成25年請願第3号】 神奈川県に対し公契約条例を制定するよう意見書の提出を求める請願</p>	<p>付託委員会 総務経済常任委員会</p>
	<p>委員会審査結果…継続審査</p>
<p>【請願第1号】 子どもたちにゆたかな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願</p>	<p>付託委員会 教育民生常任委員会</p>
	<p>委員会審査結果…採択 本会議結果…採択</p>

請願・陳情とは

市政や地域の身近な問題などについての意見や要望を直接市議会に提案できる制度として「請願」と「陳情」があります。請願や陳情はどなたでも提出することができます。

問 議会局 (☎21-8791)